

### 情報電子科の取組

生徒自身による「スマホ安全利用 私たちのルール」づくり

埼玉県立三郷工業技術高等学校教頭 櫻井 健一

#### 1. はじめに

埼玉県立三郷工業技術高等学校は、昭和60年に開校し、機械科、電子機械科、電気科、情報電子科、情報技術科の5学科がある。主題に取り組んだ情報電子科は、CG・制御・通信の3つの柱を中心に授業展開しており、県内唯一のCG-ARTS認定校であり、CG教育に取り組み、産学官連携や様々な事業に挑戦している。

今回、ネットいじめやネットトラブルを防止する力を育成するため、「ネット問題対策教育推進事業」に取り組み、生徒自身が主体的に話し合い活動を行い、自分たちが守るべきルールを策定する活動をとおして、自助・共助の力を生徒自身が身に付ける研究を行うため、以下の取組を行った。

#### 2. 目的

「スマホ安全利用 私たちのルールづくり」とは、スマートフォン、携帯ゲーム機、携帯音楽プレーヤなどインターネット端末の安全利用の留意点等を示した行動指針のことである。

この取組は、行動指針を学校や外部講師が定めるのではなく、話し合い活動をとおして生徒自身に気づかせるものであり、自分たちでルールづくりをすることで、インターネット問題の解決に向けて生徒自身が主体的に関わる力を養うことが目的である。また、話し合い活動などで明らかになった、生徒を取り巻くインターネ

ット問題の現状を教職員が共有することによって、教職員の、生徒間のインターネット利用の現状と課題への理解の深化と指導力向上を図ることである。

#### 3. ネット問題対策教育推進事業

埼玉県教育委員会は、学校、家庭、生徒自身がスマートフォンなどのインターネット端末を利用する際に潜む危険性を理解し、望ましい利用態度を身に付けることと、ネットいじめやネットトラブルを防止し、生徒たちが安心して学校生活や日常生活を送ることができるようにするため、「ネット問題対策教育推進事業」に取り組み、①サイト監視、②ネットトラブル注意報、③子供のネット問題連絡協議会、④スマホ安全利用 私たちのルールづくりの4点を実施している。

#### 4. 本校情報電子科の取組

##### 第1回話し合い活動

平成27年6月25日(木)

事前に情報電子科2年5組39名の生徒および保護者に実施した「スマホ安全利用アンケート」の集計結果をもとに、代表生徒を中心に話し合い活動を実施した。問題点には、LINE乗っ取り、個人情報流出、写真からの居場所特定、ネットの関わりで犯罪に巻き込まれる、スクリーンショット流出などの多数の意見があり、対応案には、出会い系は無視する、写真はアップ

しない、ツイッターは個人名を出さない、課金は上限を設ける、スクリーンショットは心の中などがあった。スマホ利用の問題点と対処法について、8班にグループ編成し、本校の「私たちのルール」を次の3点で策定し、話し合い活動を行うことを決定した。

- ① スマホ利用時の問題点
- ② 安全に使うためのルール
- ③ ルールの伝え方



話し合い活動の様子

#### 第1回外部講師を招いたワークショップ

平成27年8月19日(水)

代表生徒を中心に、前回の活動も含め、スマホの技術、スマホの使い方、インターネットの怪しさの3点について、発表案を発表チームごとに作成することに決定した。ワークショップでは、前回の「～しない」から「～すべき」の「私たちのルール」に変えるため、代表生徒によるブレインストーミングを行い、一人一意見を持ち寄ってKJ法で分類し、同じような意見の生徒でグループ編成し、積極的に話し合い活動を行い、5つのルールを策定した。

- ① 時間制限や課金制限など家庭のルールを設ける
- ② インターネットには個人を特定されない程度の情報をのせる
- ③ インターネットは怪しいということを前提に、情報は鵜呑みにしない
- ④ フィルタリングやアンチウイルスソフトを入れる

- ⑤ No セキュリティホール  
Yes バージョンアップ



ワークショップの様子

#### 話し合い活動の深化

平成27年9月～10月

「私たちのルール」の周知方法を映像、寸劇、紙芝居、ポスターに決定し、情報電子科で習得したDTPや映像制作に関する技術を活用した制作活動を行った。各班に分かれて、生徒自身で発表資料を制作し、話し合い活動を深めるとともに、コミュニケーション能力が高まった。

#### 教職員向け研修会

平成27年11月11日(木)

「えっ、先生知らないの!？」と題して、情報電子科2年5組が策定した「私たちのルール」を教職員向けに発表した。全校生徒に発表する前に、教職員と情報共有し、発表内容にアンケートを実施し、改善すべき点を明確にした。



代表生徒による発表

#### 生徒指導教室

平成27年12月22日(火)

外部講師によるスマートフォンなどの安全利用に関する講演会を実施するとともに、情報電

子科2年5組が作成した本校の「私たちのルール」を全校生徒に4つの周知方法で発表を行い、遵守を呼びかけた。



周知方法（紙芝居）



周知方法（映像）

## 5. 策定後の課題

### (1) ルールの定着に向けて

従前は生徒指導部が中心となり、指導するための規定のみであったが、この取組をとおして生徒自身が守る行動指針ができたということは大きな成果である。携帯電話・スマートフォンの安心・安全な利用の仕方を身に付けるためには、全校生徒が興味・関心を高め、互いに思いやりの心をもつことが重要である。また、生徒自身が策定したことで、スマホの使い方を自ら考え、行動する自助・共助へとつながれたため、抑止力も高くなった。今回は、策定の作業をとおして、高い意識を醸成することができたが、次年度以降、この意識を継続させていくことが課題である。

また、全校生徒及び全教職員への発表という機会をとおして、生徒自身の成長へつなげられるとともに、ルールの周知をとおして全校生徒

の理解が進んだものと期待できる。

### (2) 生徒の感想・意見

- ① 普段話すことがない内容をみんなで話し合いながら、ルールを再確認できた。
- ② 自分たちで考えたルールなので、守りやすいルールができた。
- ③ ゲームなどをやりすぎて、夜遅くなったりしたので、これから気をつけたい。

## 6. 今後の展開について

### (1) ポスター掲示による啓発活動の継続



周知方法（ポスターの一例）

### (2) 三郷市教育委員会との連携

#### スマホ利用研究会への参加

平成28年2月11日、13日

三郷市教育委員会が市内全8中学校の代表生徒の参加した、中学生による「三郷のみんなで実現させる5つのケータイルール」推進のための取組を行った。携帯電話やスマートフォンを取り巻く実態や課題について話し合い活動を行い、節度ある使用のためにできる方策を考えることが目的である。

当日は、学校混合のグループに分かれ、昨年度に策定された市内共通のケータイルールが守られているかを議論した。話し合い活動には、情報電子科の菊地優太教諭が「スマホの光と影」について講義し、ルール徹底の重要性を伝えた。また、情報電子科3年生が「三郷市中学生対象のスマホ利用研究会」にファシリテーターとし



中学生による話し合い活動

て加わり、議論を促進した。

さらに、中学生が考えたケータイやスマホの依存度を測るチェックシートのデザイン及びプログラミング作成した。現在、三郷市教育委員会のホームページに掲載している。

(<http://www.city.misato.lg.jp/ketairule/index.html#BaseTable>)

#### スマホ安全利用チェッカー

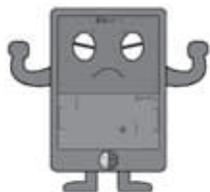
これからスマホ安全利用についての質問を15問出題します。当てはまるほうにチェックを入れてください。



Start 画面



問題画面



問題結果画面



総合結果画面

## 7. おわりに

この「情報電子科の取組」をとおして、生徒自身が「自分の行動を見つめ直し、ネットいじめやネットトラブルをなくするにはどうすればよいか」を考え、自分たちで考えたルールは自分たちで守るという規範意識を向上させることができた。生徒が将来のネット社会を安心・安全に生活するために、携帯電話やスマートフォンの利便性と危険性を学び、快適な利用方法を身に付けるとともに、ネット上のいじめや誹謗中傷などによるトラブルを防止するための取組として、生徒自身による「スマホ安全利用 私たちのルール」づくりを今後も発展させていきたいと考える。

#### 情報電子科 CG に関する授業・実習

3年間をとおして、静止画や動画、映像編集、イラストなど様々な技法や技術、作品制作をしている。第1学年ではデッサンやレイアウト、配色など、第2・3学年ではカメラワークや動画の撮り方、映像の編集技法などCGクリエイターの基礎知識を学ぶ。また、映像と音楽や3D彫刻ソフトウェアを活用した造形物制作、シナリオライティングなどを実施している。

#### 第1学年

3DCG 和室制作 (レイアウト)、缶制作 (モデリング)  
After Effects (ロゴデザイン)  
InDesign (DTPカレンダー)

#### 第2学年

アニメーション、オノマトペドローイング  
DTPパンフレット、CM制作

#### 第3学年

3DCGモデリングアニメーション  
プロジェクションマッピング、学校案内パンフレット  
産官学連携など

工業教育資料 通巻第 368 号  
(7月号)

2016年7月5日 印刷  
2016年7月10日 発行  
印刷所 株式会社インフォレスト

© 実教出版株式会社

代表者 戸塚雄式

〒102 東京都千代田区五番町5番地  
- 8377 電話 03-3238-7777

<http://www.jikkyo.co.jp/>